

## 目 標

我々、いわき経済同友会会員は、異業種交流活動を通して、持続可能な地域経済圏をつくり、夢と希望に満ちあふれた、元気な地域社会を目指します。

# SEA IWAKI

いわき経済同友会

## 三つの目的

- 一つ 元気な会社をつくろう
- 二つ 元気な人財をつくろう
- 三つ 元気な経済圏をつくろう

5・6月号/2023年6月1日発行

## 令和5年度 第37回定時総会

4月26日(水) 18:00～

会場 いわきワシントンホテル椿山荘



### 令和5年度 第37回定時総会 開催

- 議長選出 鈴木 敏弘さん
- 議事録署名人 太田丈人さん、鈴木 剛さん
- 定足人数確認  
出席者又委任状提出者 過半数をもって成立
- 議事
  - (1) 令和4年度事業報告承認
  - (2) 令和4年度収支報告承認
  - (3) 令和5年度事業計画
    - ・基本方針
    - ・活動方針
    - ・グループ会・研究会・委員会事業計画
  - (4) 令和5年度収支予算

### ◆ 誕生日プレゼント

アジサイが贈られました



誕生日は、写真左から吉田哲治さん(4月1日生)、藤本雄一さん、(4月19日)、小野代表幹事です。

## ◆令和5年度 基本活動方針

## ○基本方針

2022年になり世界的にはオミクロン株が猛威を振りましたが、コロナ感染者数もある程度落ち着きを見せ、行動規制やマスクの着用の規制もなくなりました。

仕事の長期化や核使用の懸念も出てきております。また、中国と台湾の問題、インフレやエネルギー問題など、私たちが対峙する問題はあげればきりがありません。

日本においてはこうした世界的問題に加え、少子高齢化や円安など大きな問題を抱えています。

更には、安部元首相の銃撃事件に端を発した、旧統一教会問題が毎日報道されており政界にも広がりを見せております。

13年前に起きた東日本大震災、加えて4年前に突如として感染が広がった新型コロナウイルスによる世界的なパンデミック、円安、エネルギーや原材料の高騰などは、日本経済、特にいわきを含む地域経済に対して深刻な影響を与えています。

そのような中、我々いわき経済同友会は、地域経済に活力を与えられるように、地域内で仕事やお金を循環させる地域経済構造の構築、スマートシティやスポーツを取り入れたまちづくりを念頭に地域にあるさまざまな資源を活用した地域活性化策を考えてまいります。

またSDGs、脱炭素、カーボンニュートラル社会を志向する今、再生エネルギー、水素、核融合などの新たなエネルギー施策の研究も避けては通れません。

会員企業向けにはIT・デジタル技術・DXについても積極的に学びを深め、各社の事業に取り入れていけるようにしたいと思っております。

我々はいわき経済同友会の理念・3つの目的に基づき、異業種交流を通して、これからの新たな時代に対応した新しい技術を駆使し、あたらしい生活様式に沿った元気な地域社会（まち）づくり、また、ウィズコロナ時代においても社会の環境変化に適応し進歩発展できる強い経済圏や企業そしてそれを支える人財づくりを目指していきたくと考えております。

## ○活動方針

## 1. グループ会方針

昨年に引き続き4グループで構成し各グループにはアフターコロナ時代を生き抜くための施策、循環型地域経済構造の構築、エネルギー環境問題、人手不足に対応するためのIT・DXの社内定着、または、いわきの特性を生かしたまちづくりに注力してまいります。

また、各グループ会は年1回例会を企画担当する事とします。

## ●第1グループ会

宮野由美子グループ長

アフターコロナ時に対応できる経営者のスキルアップを目指すグループ会

## ●第2グループ会

太田丈人グループ長

地域を元気に！地元経済を活性化させる施策を考えるグループ会

## ●第3グループ会

田村慎太郎グループ長

ITや新エネルギーなどの最新技術を幅広く学ぶグループ会

## ●第4グループ会

遠藤弘道グループ長

スマートシティ・スポーツ・温泉・人口減少を含めた、いわきの特性・歴史・伝統・文化を生かしたまちづくりの研究から新たなビジネスモデルを探るグループ会

## 2. 研究会方針

今年度も研究会は1つとし、大きな意味で活力あるいわきを創る施策を研究し提言を行う。また、必要に応じ、活気に満ち溢れたいわき経済同友会活動を行うために話し合い幹事会へ提言を行う。

## ●中長期戦略研究会：田子英彦会長

アフターコロナ時代に対応しながらの、いわきが抱える問題点を自由に話し合い、いわき発展のビジョンを示し提言を行う。  
(循環型経済、人口減少社会への対応、環境・エネルギー政策、人手不足対策、特性にマッチしたまちづくりなど)

## 3. 委員会方針

会員と会のコミュニケーションを良くする為に、4委員会を設置しそれぞれの役割の中で活動していきます。

## ●企画総務委員会

山崎建見委員長

- ・幹事会は基本的にZoomをやめ、会場にて対面で行う。
- ・年に数回、幹事全員参加を目指した幹事会の実施。
- ・年に数回完全Zoomによる幹事会の実施。
- ・会の総務事項、幹事会、Zoom会議運営。事務局と連携し、外部との様々な連携事業の窓口を担当する。JC懇談会など

## ●IT情報委員会

松崎貴弘委員長

- ・IT、リモートを駆使し、YouTubeやZoomによる情報共有の機会を積極的に会員に提供する場をつくる。  
(会員企業情報・その他タイムリーな情報)
- また、従来通りのFMを活用した会員企業PRやSNSを利用し、いわき経済同友会の活動を内外に発信。マスコミ懇談会等の企画・マスコミ挨拶。

## ●例会委員会

波多野和茂委員長

- ・コロナの状況も勘案しながらリアルとリモートを適時に使い分けながら安全で有意義な例会を開催する。また、例会を通して最先端の情報を会員に届けるとともに、テーマによっては地域の他団体・行政の方々にも発信できる例会を企画する。

## ●会員交流・増強委員会

米倉智昭委員長

- ・会員増強の必要性を再認識し、会員150人態勢を実現すべく各月の勧誘人数・活動内容目標を明確にし、年度中の達成を目指すとともに、スリープ会員に対してのフォローも行う。また、会員間の親睦を深める

ための会員交流事業を企画担当する。

- ・特に会員増強に関しては、現在会員のいない業種へのアプローチ！会計事務所など！

## 4. 視察研修方針

コロナ感染者の状況・視察研修先の環境などを含め、条件が揃えば実施したいと思います。テーマとすれば、今年度方針に沿ったエネルギー・環境問題、循環型経済について、または、いわきの特性を生かしたまちづくりなどを含め検討したいと思います。

## 5. 対外活動

行政や様々な団体と交流・連携を図り、地域力強化をはかります。



宮野由美子さん  
(第1グループ会グループ長)



太田 丈人さん  
(第2グループ会グループ長)



田村慎太郎さん  
(第3グループ会グループ長)



遠藤弘道さん  
(第4グループ会グループ長)



山崎 建見さん  
(企画総務委員会委員長)



松崎 貴弘さん  
(IT情報委員会委員長)



波多野和茂さん  
(例会委員会委員長)



米倉 智昭さん  
(交流・増強委員会委員長)



田子 英彦さん  
(中長期戦略研究会会長)

## 5月通常例会

5月17日(水) 18:30～

会場 正月荘

生きる根幹となる「食」。しかし日本の食料自給率は38%と低いのが現状である。食料自給率は、主に農業生産量、人口、食料需要量、輸入量などの要素に影響を受ける。また、気候変動や天候不順などの自然災害、農業政策の変化、国際的な貿易関係などにも左右される。近年、国内での食に対する不安が増えている。

そこで本例会では、株式会社相馬屋代表取締役 佐藤守利氏に『お米の現状と自社の取り組み「包装米飯」について』、いわき魚類株式会社代表取締役 鈴木健寿氏に『漁業の現状と自社の取り組み「陸上養殖」について』お二人の講話をいただいた。

各会員企業の現状や問題を詳しく解説いただき、改めて食について考えるいい機会となった。変化への対応が必要であり問題意識を持ち常にチャレンジする事の大切さを感じられる講話であった。

### ◆ 誕生日プレゼント

ミニバラが贈られました



誕生日は、写真左から柴崎恒義さん(5月25日生)、小林隆太さん(5月4日生)、小野代表幹事、高原繁美さん(5月19日生)、波多野和茂さん(5月19日生)です。



(株)相馬屋 代表取締役 佐藤 守利氏



いわき魚類株式会社 代表取締役 鈴木 健寿氏

## いわき経済同友会合同入社式開催

令和5年4月19日水曜日、いわき建設会館にていわき経済同友会合同入社式が行われました。参加人数は15名。

小野代表幹事からは、新人としての心構えや社会人としての大切な事などのご挨拶がありました。

新入社員を代表して、いわき魚類株式会社 齋藤佳輝さんが誓いの言葉を述べました。

合同入社式の後、社会人としての心構えやビジネスマナーを学ぶための新入社員研修を受講していただきました。



## 第二回中長期戦略研究会

いわき文化センターの会議室での開催。今回は株式会社いわきスポーツクラブ代表取締役大倉智氏をお呼びしての懇談会であった。

また、株式会社いわきスポーツクラブ地域推進課から多数のオブザーブ参加もあった。大倉氏自身のこれまでの歩み、いわきFC設立への経緯、国の採択で行う今年度の事業などについてお話しいただいた後、皆でスタジアム建設の現状、目指すべきスタジアムラボの姿、採択事業の進め方など具体的に懇談することができた。

今後、中長期戦略研究会としては、目指すべき提言をまとめ、発信していくつもりである。

## FMいわき「いわき経済同友会だより」

◇毎週月曜日17時45分からです。(約5分間)  
※放送予定者は変更になる場合があります

※インターネットでも、FMいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。  
<http://www.simulradio.jp/>

いわき経済同友会  
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。  
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F  
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211  
<http://www.seaiwaki.jp>  
E-mail: [doyukai@triton.ocn.ne.jp](mailto:doyukai@triton.ocn.ne.jp)

発行 いわき経済同友会 小野賢司代表幹事  
編集 情報委員会 委員長 松崎貴弘  
副委員長/遠藤慧毅・円谷真路